

競技者注意事項

この大会は、2024年（財）日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により行う。

1. 招集は、全て競技者系の指示に従うこと。

- ①点呼終了時刻は、トラック競技は競技開始時刻の25分前から開始し、15分前に終了する。フィールド競技は競技開始の30分前から開始し、20分前に終了とする。
- ②競技者系の場所は、100mスタート後方にある。招集終了時間までにトラック競技・フィールド競技は、100mスタート後方の所定場所に集合すること。
- ③招集に遅れた者の出場は認めない。
- ④点呼終了後、競技者は招集所を離れてはいけない。
- ⑤各競技種目の移動はすべて競技者系の誘導によって行う。
競技が重複して出場する競技者は、その旨を競技者係及び審判員に申し出て、棄権にならないよう注意すること。
フィールド競技からトラック競技に移動する際は、必ずその競技の審判員に断ってから移動すること。
- ⑥四種競技の点呼は最初の種目だけとし、二種目以降は各競技場所に集合（競技開始15分前）とする。
- ⑦リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに本部（記録員）に提出すること。なお、一度提出したオーダーの変更は（ケガなどで競技不可能となった時以外）認められない。
リレーオーダー用紙はプログラムに同封しているものを使用する。
- ⑧競技を棄権する場合は、競技者係に申し出ること。

2. 走路順・試技順

- ①プログラム記載通りとする。
- ②トラック競技の決勝のレーンは本部記録で決定する。

3. トラック競技

- ①スタートについては、競技規則TR16.5.3は、本大会では適用せず、注意を与えるものとする。
- ②男女800mのスタートはセパレートで行う。9レーンの選手は7レーンに入ってスタートする。
- ③男子1500mについては小樽地区1年と同時スタートとする。アスリートビプスについては、競技者係から受け取ったレーン番号をつける。
- ④男子3000m、女子1500mについてはそれぞれ小樽地区と同時スタートとする。アスリートビプスについては、競技者係から受け取ったレーン番号をつける。
- ⑤四種競技（男子110mH、400m・女子100mH、200m）は小樽と同時スタートとする。

4. フィールド競技

- ①走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。
 - ・男子走高跳（練習 1m15） 1m20～1m55まで5cm上げ。以後、3cm上げ。
 - ・四種男子走高跳（練習 1m05） 1m10から3cm。
 - ・女子走高跳（練習 1m05） 1m10～1m40まで5cm上げ。以後、3cm上げ。
 - ・四種女子走高跳（練習 1m00） 1m00から3cm
- ②練習の高さについては、選手の状況に合わせて2段階で練習を行う。
- ③男子走幅跳は、試技順1～12番がAピット、13～24番がBピットを使ってそれぞれ試技を行う。
- ④女子走幅跳は、後志がAピット、小樽がBピットを使って試技を行う。
- ⑤アスリートビプスは胸部と背部に付けること。ただし、跳躍競技においては胸部または背部のみでもよい。

5. 練習について

- ①8時30分まで、本競技場での練習を認める。
- ②開会式前、第4コーナーでのバトンパス練習は禁止する。リレー練習後は必ずマーキングテープをはがすこと。
ウォーミングアップは競技に支障にならないようバックストレートと外側トラックを利用のこと。ただしバトン以外の器具の持ち込みは認めない。
- ③砲丸投に出場する選手については練習用の砲丸を各自持参すること。
- ④競技場外のグラウンド（旧末広中学校のグラウンド）などの施設を使用しないこと。
逆走は大変危険なので、絶対に行わないようにすること。
- ⑤今年度、芝生養生のため、準備運動で芝生を使用しないこと。

6. スパイクシューズについて

- ①本競技場は全天候舗装であるので、ピンは全天候型の9mm以下（走高跳11mm以下）とする。
- ②靴底について事前に競技者係でチェックを受けること。

7. その他

- ①その競技に参加の選手以外は競技場内に入ることにはできない。
- ②表彰は行わない。各種目6位以内（リレーは3位まで）の入賞者は、賞状を学校ごとに本部2階へ受け取りに来ること。ただし、学校対校については結果が分かり次第放送をかけるので、該当の学校は本部まで取りに来ること。
- ③悪天候（雷など）の場合、日程変更や中止等もあり得る。